

■コメント

1. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり3.75人と、例年同時期と比較して多い状態が続いています。この疾患は、A群溶血性レンサ球菌によって引き起こされ、2～5日の潜伏期間の後、突然の発熱と全身倦怠感、喉の痛みによって発症し、嘔吐を伴うことがあります。

患者との接触による感染を予防するため、マスク着用や手洗い・うがいの励行に努めましょう。

2. 腸管出血性大腸菌感染症

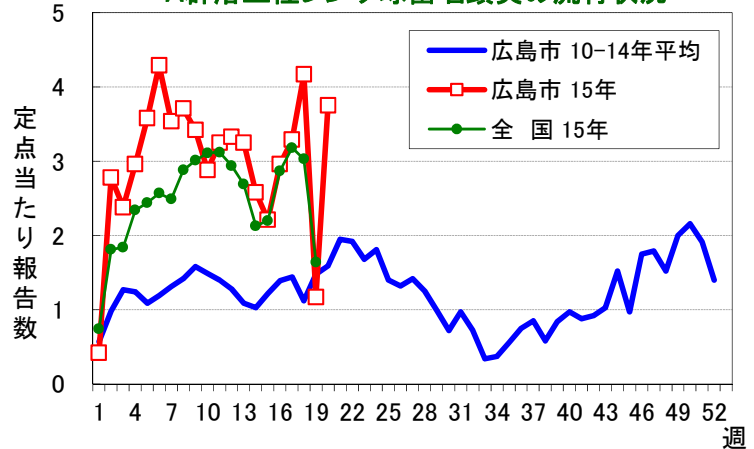
今年初めて1件の報告(O26)がありました。

予防のため、食品は十分加熱し、手洗いの励行を心がけましょう。

3. 後天性免疫不全症候群

1件の報告があり、今年の累計は5件となりました。(次頁参照)

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の流行状況



前週(第19週)は、ゴールデンウィーク期間中で定点医療機関休診の影響があるため、第20週の各疾患の増減の評価及び「定点把握感染症報告状況」(下表)の発生記号の表示は、前々週(第18週)との比較で行っています。

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	14	0.38	0.54	↓	小児科	流行性耳下腺炎	37	1.54	0.75	↗
	咽頭結膜熱	14	0.58	0.36	↔	眼科	RSウイルス感染症	-	-	0.10	↔
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	90	3.75	1.59	↗	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.05	↔
	感染性胃腸炎	149	6.21	8.24	↗	眼科	流行性角結膜炎	7	0.88	0.83	↔
	水痘	16	0.67	1.17	↗	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	↔
	手足口病	23	0.96	1.52	↗	基幹	無菌性髄膜炎	-	-	0.08	↔
	伝染性紅斑	4	0.17	0.30	↔	基幹	マイコプラズマ肺炎	3	0.43	0.34	↔
	突発性発しん	12	0.50	0.50	↔	基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	↔
	百日咳	-	-	0.13	↔	基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	6	0.86	-	↔
	ヘルパンギーナ	4	0.17	0.28	↔						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	↔	↔	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	7	54	男性(40歳代)・1人、女性(40歳代)・1人、男性(60歳代)・1人、女性(70歳代)・1人、男性(80歳代)・2人、女性(80歳代)・1人
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	1	女性(10歳未満)・O26
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	8	男性(50歳代)
5	後天性免疫不全症候群	1	5	男性(30歳代)・エイズ

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウィ ルス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎	(ロタ ウイルス)	感染性 胃腸炎
報告数	広島市	第16週	37	6	71	196	8	11	2	4	1	-	26	3	-	5	-	-	-	-	3	3
		第17週	54	10	79	180	9	9	-	19	-	1	28	3	-	8	-	-	1	-	6	6
		第18週	58	6	100	163	7	8	3	16	-	1	28	-	1	4	-	-	2	-	12	12
		第19週	23	9	28	98	8	8	1	8	-	2	29	3	1	4	-	-	2	-	13	13
		第20週	14	14	90	149	16	23	4	12	-	4	37	-	-	7	-	-	3	-	6	6
定点当 たり	広島市	第16週	1.00	0.25	2.96	8.17	0.33	0.46	0.08	0.17	0.04	-	1.08	0.13	-	0.63	-	-	-	-	0.43	0.43
		第17週	1.46	0.42	3.29	7.50	0.38	0.38	-	0.79	-	0.04	1.17	0.13	-	1.00	-	-	0.14	-	0.86	0.86
		第18週	1.57	0.25	4.17	6.79	0.29	0.33	0.13	0.67	-	0.04	1.17	-	0.13	0.50	-	-	0.29	-	1.71	1.71
		第19週	0.62	0.38	1.17	4.08	0.33	0.33	0.04	0.33	-	0.08	1.21	0.13	0.13	0.50	-	-	0.29	-	1.86	1.86
		第20週	0.38	0.58	3.75	6.21	0.67	0.96	0.17	0.50	-	0.17	1.54	-	-	0.88	-	-	0.43	-	0.86	0.86
	全国	第18週	1.43	0.57	3.03	6.60	0.50	1.15	0.79	0.61	0.02	0.14	0.41	0.17	0.02	0.56	0.02	0.04	0.26	0.02	0.55	0.55
		第19週	0.71	0.37	1.64	4.07	0.44	0.76	0.36	0.42	0.01	0.09	0.33	0.10	0.01	0.41	0.02	0.03	0.22	0.02	0.36	0.36

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

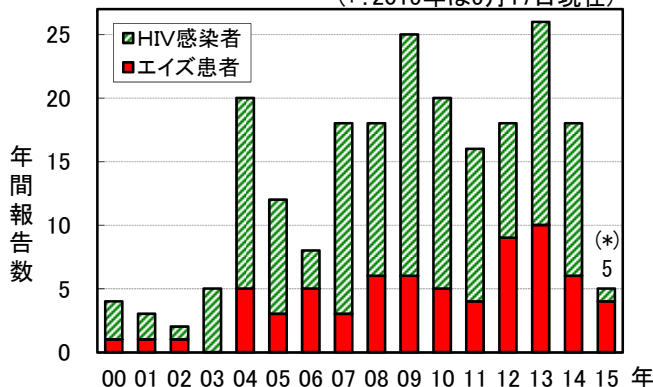
診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
咽頭結膜熱	発熱 上気道炎 結膜炎	0	男	2015/04/05	咽頭拭い液	ライノウイルス
無菌性髄膜炎	発熱(39.0) 髄膜炎	1	男	2015/03/29	咽頭拭い液	エンテロウイルスNT ムンブスウイルス
その他の疾患	発熱(39.0) 上気道炎 肝機能障害 リンパ節腫脹	3	女	2015/03/31	咽頭拭い液	EBウイルス
その他の消化器疾患	発熱(39.0) 腸重積	0	男	2015/03/31	糞便	アデノウイルス2型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市における後天性免疫不全症候群の報告数とHIV抗体検査受検者数の推移

後天性免疫不全症候群の年間報告数の推移

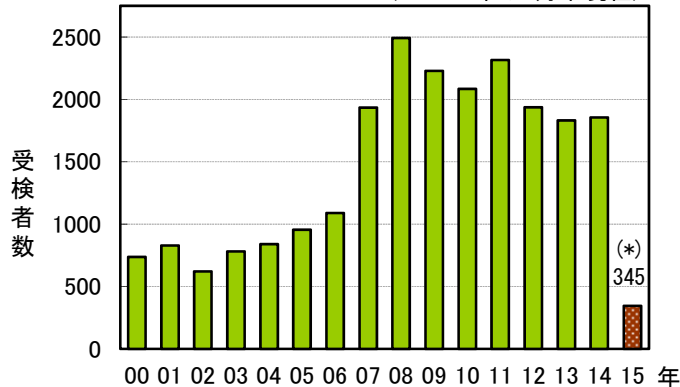
(*: 2015年は5月17日現在)



(注) HIV感染者とは、HIVに感染しているが、発病していない人のこと。

広島市保健所におけるHIV抗体検査受検者数の推移

(*: 2015年は3月末現在)



エイズについての相談と無料・匿名検査は各区保健センター(健康長寿課)へ

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2015年第20週(5月11日～5月17日)